

五輪ボート・カヌー会場

「海の森」への逆戻り 許されない

公開の場で検討を

共産党都議団が

小池知事に提案

日本共産党東京都議団は10月24日、小池知事に対し、五輪のボート・カヌー会場の見直し検討にあたっての提案を行いました。

日本共産党都議団はかねてから、当初会場として予定されていた海の森水上競技場については、風、波、地盤が最悪の立地で、491億円を投入しても公平なレースは保証されず、大会後の維持管理が、過度な都民負担になりかねないと、見直しを求めてきました。

小池知事は9月に見直す方向を示したものの、その後、五輪調査チームを担当する特別顧問が、見直し候補地について海の森水上競技場の恒設ないし仮設か、宮城県の会場かの3案に絞りこみ、近く結論を出すと言記者会見するなど、都民や関係者に経過も明らかにしないまま、調査チーム主導で決められようとする危険が浮上しています。

共産党都議団はこうしたやり方は、知事が重視するとした透明性確保に反するとして、左記の提案を行いました。



▶海の森水上競技場の完成イメージ
（図都のホームページより）

共産党の提案

- ① 公平・公正な調査検討を——関係者が参加した公開検討会を行うこと。アスリートへの緊急アンケートを行うこと。
- ② 海の森水上競技場に逆戻りすることは許されない。
- ③ 宮城県の会場の場合は、復興基金が会場整備費に投入されないように対策を。
- ④ 候補地の整備費は公平・公正な比較ができるよう精査し直す。現状では「海の森」以外の彩湖（埼玉県）や宮城県の施設が過大に見積られている。

提案の全文はHPより→



都民が納得できる五輪の成功へ全力

見直しが始まったのは重要な前進です。しかし調査チームの報告などには、本当に都民が望む見直しにつながるのか危惧される点や、逆に都民負担が増える内容もあります。都民の福祉充実やくらしを守ることを両立し、都民が納得できる五輪の成功へ全力をあげます。



都議会議員（板橋区選出）

とくとくとめ道信

とくととめ・みちのぶ

日本共産党

東京民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可